

第2号

1992/12

特別養護老人ホーム

「愛の園」だより

発行所 (社) ぶどうの枝福祉会 『愛の園』を支える会
発行者 持田哲弥 編集者 斉藤信男 印刷所 堀井印刷

〒657 神戸市灘区神ノ木通2-2-9 神戸ホーリネス教会内
発行部数 3000部 発行年月日 1992年12月15日

『人間だれでも老齡期を迎えるのです』

受けるよりは与える方が、さいわいである。(使徒20章35節)

設立責任者 斉藤信男

クリスマスおめでとうございます。み子イエスキリストをくださった神の恵みを感じし心から御名を崇めます。

皆様のお祈りと御協力を頂きまして、特別養護老人ホーム「愛の園」の建設工事事も着々と進んでおります。ありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

ある日、私は保育園の礼拝の時、園児たちに「あなたたちは産まれてきた時、赤ちゃんだったでしょう。おじいちゃんも、おばあちゃんも産まれてきたときは赤ちゃんだったんだよ」と言いますと、不思議そうな顔をしていました。更に「みんなも、今に大きくなって、そのうちにおじいちゃんおばあちゃんになるんだよ」と言いますと「まさか」と言うような顔をしていました。

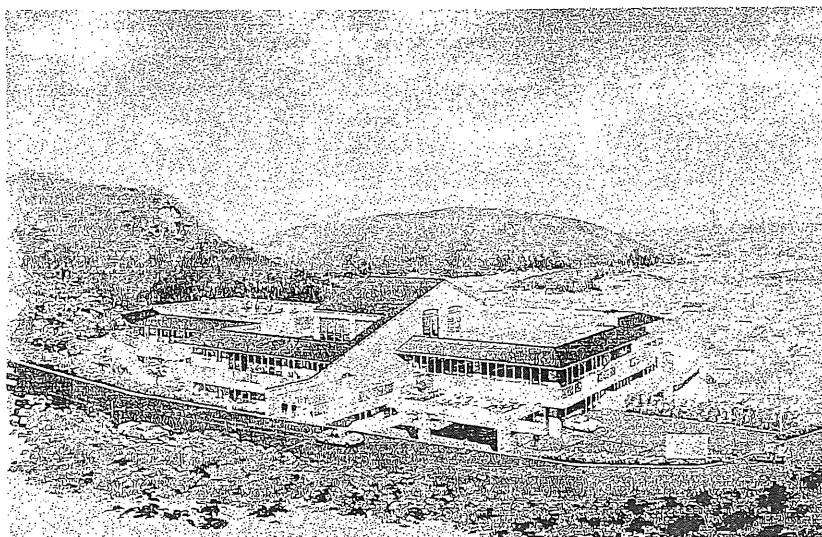
人間だれでも好むと好まざるとにかかわらず凡ての人が生きている限り老齡期を迎えなければならぬのです。避けることはできません。老齡期に達し、淋しい思いをした時に、「私も若いうちにお年寄りを大事にしてあげよかつた」と悔やむ前に、私たちも元気なうちにお年寄りを大事にしたいものです。私はいつも教会学校の生徒たち、園児たちにお年寄りを大事にすることを教えております。

毎年、私たちの保育園では収穫感謝祭の行事として、園児たちが持ちよった果物と野菜(野菜はバラずしを作ります)と一生懸命に描いた絵をもって、園児たちと一緒に同居老人の家を訪問しております。うれしくて涙を流すお年寄りもおられます。主イエスは「受けるよりは与える方が、さいわいである。」と言われました。お年寄りの喜びを我が喜びとしたいですね。

特別養護老人ホームは、その人にとって生涯の最後のすみかです。神の愛と人の愛に包まれたあたた

かい住みここのよいすみかであることを願っております。聖書のおことばと賛美の流れるついのすみかを造ることが、心からの願いです。

より良いホーム、そして設備のよくとどのつたホームを造るためには多くの資金が必要です。どうか、あたたかい愛のこもった御献金をおささげ下さい。心からお願ひ致します。



北から見た「愛の園」(完成図)